

学校適正配置計画(案)意見など(説明会)

番号	日時	会場	意見等	回答
1	R8.1.28	上北谷小	共創郷育とはどういうものか教えてほしい	学校・家庭・地域が総がかりで子どもを育てていこうという見附市独自の取組みです。様々な大人と接することで多様な物の考え方を身に付ける子どもに育ってくれることを期待しています。
2	R8.1.28	上北谷小	共創郷育の具体的な取り組みについて教えてほしい	例えば循環型農園活動という取り組みでは、学校だけではできないので地域のみなさんから指導していただきながら行っております。
3	R8.1.28	上北谷小	統合の話が進んだきっかけは地域からの申し出かと思うが、行政から統合の話とか遠方からの通学をこうしたらどうですかということはないのか	子育て世代の市民からタウンミーティングで意見をお聞きし、学校配置等検討委員会を設置した際には地域のみなさんや保護者、教育関係者にも入っていただいて、教育委員会と市が提示させていただいているのがこの案となります。交通手段については対象エリアも含めて来年度しっかりと検討していきます。
4	R8.1.28	上北谷小	統合された後の学校施設の利用方法について教えてほしい	現段階では決まっていません。売却や民間活用などいろいろな選択肢がありますが、今後、公共施設適正化の中で検討していきたい。学校施設は避難所機能を持っているので、その点は考慮していきます。
5	R8.1.28	上北谷小	高校生も含めて夏も保護者が送迎している現状がある。通学手段を確保して学ぶ権利を保障してほしい。	遠距離の通学手段については、対象区域および公共交通やスクールバスを含めて来年度検討していく予定です。公共交通の場合は無料を想定しています。決定次第、お知らせします。
6	R8.1.28	上北谷小	令和9年度から相互オープン制度とあるが、残っている子どもの数が少なくなったら統合年度が早くなることはあるのか。	子どもの数が極端に少なくなったとしても、行政の方から統合年度を一歩的に早めるということはありません。計画に沿って進めていきますが、保護者の総意によっては変更もありません。
7	R8.1.28	上北谷小	地域コミュニティは学校中心になっているので、学校がなくなることに不安がある。今後どうなるのか。	統廃合に伴うコミュニティの統合については考えていません。より一層学校とコミュニティの連携によって、地域の伝統・魅力をもつと掲げていくという活動を支えていきたい。コミュニティスクールとして学校運営協議会を組織していただいているので、統合した後も地域から委員として協力いただきたい
8	R8.1.28	上北谷小	学区変更年度の前に変更後の学校に行くことは可能か。	何らかの事情で学区外就学を希望する場合は、それぞれのお子さんの教育的配慮が必要な事情や学区外就学基準に沿って判断させていただきますので、まずは学校教育課に相談をしてください。
9	R8.1.28	上北谷小	低学年のこどもの通学手段について、乗換えしなくていいようにしてほしい。	遠距離の通学手段については、対象区域および公共交通やスクールバスを含めて来年度検討していく予定です。統合される小学校区の児童についてはスクールバスを想定しています。
10	R8.1.28	上北谷小	保護者の意見を聞いて、ここまでまとめていただけて感謝している。これからいろいろ問題が出てくるとは思うが柔軟に対応していただきたい。	みなさんの意見を聞きながら案をまとめさせていただいたが、計画に沿って進めてすすめていく中でいろいろな問題が出てくると思うので、その時には広く意見を聞きながら柔軟に対応していきたいと思えます。
11	R8.1.28	上北谷小	現在、中学生は冬期間だけバスが出ているが、クマが出没して危険を感じるのもう少し早い時期からバスを出してほしい。	クマ対応については、関係課においてパトロールや駆除の対応を行っている。スクールバスでは全員を玄関先まで送ることができないのでご理解をお願いしたい。
12	R8.1.28	上北谷小	人口減少の中で将来的な上北谷地区をどう考えているのか	人口減少に抗っていききたいという想いで、どの地域に住んでも暮らし満足No1と思ってもらえるまちにしたいと思っている。公共施設のありかたについては、中心部と周辺部の施設を完全に同じとはいかないが、施設利用のための移動する手段については確保できるように考えていきたい。
13	R8.1.28	上北谷小	子どもが小学生の時、「サイクリングロードは自転車走から歩くな。車道も危険だから歩くな。」と言われ公共のバスで保護者負担で通学させた。統合までこれは変わらないのか。	「サイクリングロードを歩いてはいけない」という情報について、市では認識がなかったので、状況を確認して回答いたします。
14	R8.1.28	上北谷小	中学生のバスについてはこれから検討するということだが、公共交通のバスは降雪状況によっては時間が大幅に遅れるので、スクールバスでの検討を考慮してほしい。	市では健幸のまちづくりということで歩くことにも力を入れていることから、公共交通のある所はできるだけ歩いてほしいという思いがありますが、そうでないとうまいかないというのであればスクールバスも検討していかないといけないと考えています。
15	R8.1.30	市役所	建設費が高騰している点も含めて、まちづくりを考えた視点で統廃合をもっと早く、中学校を1校・小学校を4校にしたい。中学校を市の中心地域である駅周辺にすることでにぎわいを生み出す効果があると思う。ただし周辺環境の整備も必要なので、教育委員会だけでなく市の組織全体で考える必要があると思う。	学校再編を市全体のまちづくりの視点で考える必要があることには同じ考えです。最初に中学校1校にできればそれにこしたことはないが、新しい場所でも1校化するためには用地の取得など様々な調整を行う必要があるため時間がかかることとなります。喫緊の課題であるため段階的に進めることとしたが、できるだけ早く実現できるようにしたい。
16	R8.1.30	市役所	田井小学校が複式学級なのに小規模校として残すのは不思議である。	小規模少人数の環境で学びたい子どももいることから、全ての学校の規模を拡大するのではなく、様々な教育環境を整えることが見附市の教育環境の魅力向上につながっていくと考えています。オープンスクールでの実績も考慮して田井小学校を小規模特設校として選ばせていただきました。

番号	日時	会場	意見等	回答
17	R8.1.30	市役所	歩いて行ける場所にあった学校がなくなると、まちの魅力がなくなる。地域のアイデンティティがなくなるとを懸念している。	統廃合に伴うコミュニティの統合については考えていません。より一層学校とコミュニティの連携によって、地域の伝統・魅力をもっと広げていくという活動を支えていきたい。 交通手段については来年度しっかりと検討していく予定です。
18	R8.1.30	市役所	仮称で第一中・第二中という名前が使われていますが、地域の名前とか愛着のある名前を残してほしい。	統合中学校の名称については、統合についての準備委員会を保護者や地域のみなさんで立ち上げてその中で考えていきたい。
19	R8.1.30	市役所	子どもたちが通う学校のことを考えて昭和町に引越した。学区変更の話に戸惑い、不安に思っている。地域の人で知らない人もいます。学区の選択はできるのか。	子どもの教育環境を考えたときに進学先が分かれることの議論をした中で、小中一貫した教育の連携を推進することが望ましいと考えます。何らかの事情で学区外就学を希望する場合は、まずは学校教育課に相談してください。
20	R8.1.30	市役所	使われなくなった学校をどのように利用するのか、考えがあればお聞かせ願いたい。	現段階では決まっています。売却や民間活用などいろいろな選択肢がありますが、今後、公共施設適正化の中で検討していきたい。学校施設は避難所機能を持っているので、その点は考慮していきます。
21	R8.1.30	市役所	学区変更について、申請すれば中学校を変更できることとのだが、小学校の時点から選択することは可能か。	何らかの事情で学区外就学を希望する場合は、それぞれのお子さんの教育的配慮が必要な事情や学区外就学基準に沿って判断させていただきますので、まずは学校教育課に相談してください。
22	R8.1.30	市役所	統合した後も学校は続いていくと思うが、大体何年ぐらいもつのか。新しい学校を建てるのか。	一般的には40～50年程度が耐用年数と言われていますが、大規模改修を行うことで、その後30～40年使うことができますので、施設の状態をみながら大規模改修を行うか新しく建築するのか判断することになります。
23	R8.1.30	市役所	統合の際に配慮する3つの事項について、具体的にはどのようなことを想定しているのか。	心身のケアについては、統合前後2年については加配教員が配置されることとスクールカウンセラーや介助員を配置して子ども達の心のケアにあたりたい。また学校間で交流活動を通して不安の解消を図りたい。 時代に即した整備については、理科室などの特別教室や体育館の空調整備などを行っていきたい。 交通手段については、来年度に公共交通を含めて検討していきたい。
24	R8.1.30	市役所	統合による通学の交通費は無償になるようお願いしたい	遠距離の通学手段については、対象区域および公共交通やスクールバスを含めて来年度検討していく予定です。公共交通の場合は無料を想定しています。決定次第、お知らせします。
25	R8.1.30	市役所	相互オープンスクールが始まって、極端に子どもが少なくなってしまった場合でも学校は存続するのですか。	小規模の学校で学ぶ方が力が発揮できる、きめ細やかな環境で見てもらえるということで選んできてもらっている方の思いを大事にしたい、学校を大事にしたいと思っています。地域の皆様の総意の中で要望があった場合には検討させていただくこととなります。
26	R8.1.30	市役所	相互オープンスクールで名木野小に行きたい場合は、スクールバスを出してもらえるのか。	オープンスクールの場合、学区外就学であることから通学については公共交通か保護者をお願いしています。相互オープンスクールも学区外就学になることから保護者をお願いすることになります。
27	R8.1.30	市役所	今後のスケジュールで、説明会の後は学校区単位での話し合いのようなものはないのでしょうか。	パブリックコメントや説明会でいただいた意見をしっかりと確認させていただき、計画案として示した方向でということになれば3月に正式に計画として示させていただくこととなります。
28	R8.1.30	市役所	子どもが中学3年生の時に統廃合になる。子どもたちが環境が変わっても安心して通えるようにしていただきたい。	大事な時期でありますので、しっかりと配慮できるように考えています。統合年次より早い時期から交流できるように考えていきたい。
29	R8.2.3	第二小	相互オープンスクールの場合、スクールバスであるのか、保護者対応になるのか。	オープンスクールの場合、学区外就学であることから通学については公共交通か保護者をお願いしています。相互オープンスクールも学区外就学になることから保護者をお願いすることになります。
30	R8.2.3	第二小	統合されたとき、小学校のスクールバスに中学生も乗れるのか。熱中症やクマの心配がある。	中学校が統合されるまでの間のスクールバス利用については、協議させていただきたい。
31	R8.2.3	第二小	統合時の体操着などの道具の交換費用はどうなりますか。	統合に向けた準備委員会のようなところで話し合ってもらおうことになると思いますが、統合の際に全てを新しいものにしてもらう必要はないと考えています。使えるものを大事に使って行って、買い替えのタイミング等でそろえてもらえばいいのではないかと考えています。
32	R8.2.3	第二小	他の会場ではどのような質問が出ていましたか	移動手段、地域コミュニティの関係、統合後の施設利用についての質問がありました。

番号	日時	会場	意見等	回答
33	R8.2.3	第二小	学童クラブの利用はどうなるのか、費用はどうなるのか	現段階では、学童の利用については統合後の学区内の学童クラブの利用を考えています。統合先の学童クラブと統合前の学童クラブのどちらを利用したいのかニーズを調査して、学童クラブのあり方についても検討していきたい。費用についてはそれぞれの運営団体の料金を負担いただくこととなります。
34	R8.2.3	第二小	相互オープンスクールによって、児童数が減少した場合にどうなるのか	児童数の偏りが生ずる心配は懸念されるが、統合されるまではここで学びたいという子がいる限りはしっかりと教育活動が進められるように支援に努めていく。もちろん行った先のこどもについてもしっかりとサポートしていきたい。
35	R8.2.3	第二小	地域コミュニティも考慮しながら進めていただきたい。	統廃合に伴うコミュニティの統合については考えていません。より一層学校とコミュニティの連携によって、地域の伝統・魅力をもっと広げていくという活動を支えていきたい。コミュニティスクールとして学校運営協議会を組織していただいているので、統合した後も地域から委員として協力いただきたい
36	R8.2.3	第二小	こどもが小6のときに統合になるが、修学旅行の積立てとかはどうなるか	統合前までは積立てをいただいて、統合の時に返金されて、統合先の学校で新たに積立てすることになると思います。事前に把握しながら積立ててもらおうことになろうかと考えています。
37	R8.2.3	第二小	PTAの会費とかはどうなるのですか	PTAの組織は任意の組織ですので、PTAの組織の中で話し合ってくださいということになります。
38	R8.2.3	第二小	こどもがタイムカプセルを埋めて、20歳のとき(令和14年)に開けるといことになっているが、どのようになるか教えてほしい	統合後の施設利用については、公共施設適正化の中で検討されることになる。このまま施設が残るようであれば、適切な時期に掘り起こしてもらえればと思うが、何らかの利用があるようであればその前に相談させてもらうことになると思います。
39	R8.2.3	第二小	スクールバスを検討するとのことだが、保護者の送迎に負担がないようにしてほしい	遠距離の通学手段については、対象区域および公共交通やスクールバスを含めて来年度検討していく予定です。統合される小学校区の児童についてはスクールバスを無料で想定していません。決定次第、お知らせします。
40	R8.2.3	第二小	中学校の多様な学びの場に配慮するとは、どのような想定をされているのか。	中学校においても小規模特認校のような少人数で学べる環境も必要でないかと考えている。
41	R8.2.3	第二小	中学校の多様な学びの場について、今後の状況を見ながらになると、どういうタイミングで説明があるのか	現段階ではスケジュール感を示すことはできませんが、できるだけ早く検討していきたいと考えている。
42	R8.2.3	第二小	最終的には中学校1校ということだが、どのあたりを想定しているのか。	現段階では決まっていません。既存の校舎を活用して拡張する可能性も、新たな場所に整備する可能性もありえます。今後、教育環境のみならず、これからのまちづくり全体の中で考えていきたいと思っています。
43	R8.2.3	第二小	令和21年には中学生は何人くらいになっているのか。	令和21年度の中学生数の推計はしていません。
44	R8.2.5	武道館	中学校の統合で通学距離が長くなるのが不安。スクールバスなどはどうなるのか。	遠距離の通学手段については、対象区域および公共交通やスクールバスを含めて来年度検討していく予定です。決定次第、お知らせします。
45	R8.2.5	武道館	相互オープンスクールについて、制度はいいと思うが移動手段がない保護者も多くいると思う。オープンスクールも含めて、スクールバスを出せるよう検討してほしい。	現段階では相互オープンスクールの移動手段については考えていないが、今後、いただいた意見をふまえ、是非も含めて柔軟に検討していきたい。
46	R8.2.5	武道館	小さい学校からから規模の大きな学校に行く場合に、友達も少なく環境が変わることに不安がある。	心配される気持ちはもつとどと受け止めます。少しでも不安が解消できるようにカウンセラーによる心のケアに努めたり、統合前からの児童生徒同士の交流活動を行うなどの取組を進めていきたいと考えています。
47	R8.2.5	武道館	統合時に学用品や制服などの扱いはどうなるのか	統合に向けた準備委員会のようなところで話し合ってもらおうことになるとは思います。統合の際に全てを新しいものにしてもらう必要はないと考えています。使えるものを大事に使って、買い替えのタイミング等でそろえてもらえばいいのではないかと考えています。
48	R8.2.5	武道館	南中は支援学級に力を入れていると感じているが、見附中はあまりいい話を聞かないので不安がある。	特別支援教育は大事な教育です。一人ひとりの児童生徒の状況に合わせた教育を進めることができるように、各学校の状況を把握しながら指導していきたいと思っています。

番号	日時	会場	意見等	回答
49	R8.2.5	武道館	こどもにとって統合で世界が広がるのはいいことだと思うが、不安もある。統合前から顔を合わせる機会を作してほしい、市内合同懇談会などがあるといいのではないか。	こどもにとって世界が広げられるように考えて適正配置計画を考えました。不安な気持ちもわかりますので、統合前から児童生徒同士が交流する機会を作っていくことを大事に考えて進めていきたいと思っています。
50	R8.2.5	武道館	多様性に対応できる学びの場は具体的にどのようなものを想定しているのか	いわゆる学びの多様化学校のような形にするかどうかはこれから検討してまいります。中学生でも小規模少人数の中で学ぶことができる場を考えています。
51	R8.2.5	武道館	どのような多様性を持ったこどもに育てていくのか教えてほしい	自分の良さ(見方・考え方等)を活かして学んだり自分の得意な学び方を生かして学んだりして、自分を肯定的にとらえ、自分に自信をもって生きていくことができる子どもを育てたいと考えています。
52	R8.2.5	武道館	市として目指す多様性とはどのようなものか	自分の良さ(見方・考え方等)を活かして学んだり自分の得意な学び方を生かして学んだりして、自分を肯定的にとらえ、自分に自信をもって生きていくことができる子どもを育てていくことができるような環境を整えていくことを目指しています。
53	R8.2.5	武道館	社会性やコミュニケーション能力を確実に身に付けているのか、どのようにチェックをするのか	見附市の教育で目指すこどもの姿は、数値で測ることができるものだけではなく、いわゆる非認知能力と言われる自ら課題を見つけ仲間と協働しながら粘り強く挑戦して解決に結び付けていく姿を目指しています。学校評価アンケートなどで、言動や表現したも等で育ちを評価していくことになると考えています。
54	R8.2.5	武道館	準備委員会ではこどもの意見を尊重するようにしてほしい	統合によってどのような学校にしていくのかは大人だけで決めていいものではないと考えています。学校づくりにはしっかりとこどもたちの意見を取り入れていきたいと考えています。
55	R8.2.5	武道館	学校整備の基本方針で、「中学校は可能な限り専門教科教員を配置することができるようにする」とあるが、現状はどのようなのか	専門教員の配置は学年3学級が目安となります。現在の中学校は学年3学級平均を下回りますが、特別支援学級の教員や生徒指導加配など学校課題解決のための加配教員が配置されていますので、専門教員の配置は満たされています。
56	R8.2.5	武道館	学区外就学は希望すれば可能なのか	何らかの事情で学区外就学を希望する場合は、それぞれのお子さんの教育的配慮が必要な事情や学区外就学基準に沿って判断させていただきますので、まずは学校教育課に相談をしてください。
57	R8.2.5	武道館	国の基準と市の基準が異なる点についてもう少し教えてほしい	見附市ではこれまで共創郷育によって地域の大人が総がかりでこどもたちの成長を支える取組を推進して成果を上げていただきました。小学校においては学校と地域との関係をこれまでと同様に大事にしていきたいと考えて国と異なる基準を設定しました。
58	R8.2.9	田井小	なぜ田井小は残るのでしょうか。	小規模少人数の環境で学びたいこどももいることから、全ての学校の規模を拡大するのではなく、様々な教育環境を整えることが見附市の教育環境の魅力向上につながっていくと考えています。オープンスクールでの実績も考慮して田井小学校を小規模特設校として選ばせていただきました。規模の大きな学校を希望される場合は相互オープンスクール制度で通っていただくことも可能となっております。
59	R8.2.9	田井小	相互オープンスクール制度は保護者の送迎となっているがマイクロバスなどを出してもらえないのか	現在のオープンスクール制度は保護者の送迎となっていることから、相互オープンスクール制度でも保護者の送迎とさせていただきます。
60	R8.2.9	田井小	入学する子が1人の学年もあるが、それで学校として成り立つのか。複式学級だからいいというのではなく、田井小を残すことには反対。再検討してほしい。	ご意見として受けとめさせていただきます。市としては小規模校を残したいと考えている。相互オープンの場合の交通手段については、是非も含めて検討させていただきます。
61	R8.2.9	田井小	少子化の中で学校を残してもらったのはありがたい。子どもたちの居場所がなくなることに不安を感じている。将来的には田井小のこどもがいなくなるかもしれないが、他の町からきてくれるこどもを地域として迎え入れていきたい。	学校と地域の連携を一生懸命やっておられる地域だと思っておりますので、より一層この地域が選ばれる学校にしていきたいと考えております。
62	R8.2.9	田井小	中学校は令和12年に統合になるということですが、2年生3年生といった学年は途中から統合になるのか段階的になるのか教えてほしい	令和12年に3学年一斉に統合ということになります。段階的だと3年生だけという年も出てきて規模が小さくなり教員の配置が少なくなり学ぶ環境を維持できる可能性が高くなります。こどもたちが不安に思うことがないよう、事前に交流活動を計画的に行っていきたいと思っております。準備委員会を設置してご意見をいただきながらすすめていきたいと考えています。
63	R8.2.9	田井小	スクールバスについて、見附中まで距離があるがどのように考えているのか教えてほしい	遠距離の通学手段については、対象区域および公共交通やスクールバスを含めて来年度検討していく予定です。公共交通の場合は無料を想定しています。決定次第、お知らせします。

番号	日時	会場	意見等	回答
64	R8.2.9	田井小	時代に即した教育環境の整備のなかで、特別教室というのはどういったものか	特別教室とは、理科室・美術室・技術室・家庭科室などの教室をいいます。特別教室のうち音楽室にはエアコンの空調整備がされていますが、他の教室は未整備ですので順次整備していきたいということです。
65	R8.2.9	田井小	アンケートの年代別分析は行っているか。子育て世代と高齢世代での違いはあるか。	地域別年代別での分析は載せてないが、全体の年代別分析は計画書の資料編にあります。年代が上がるにつれて統廃合に否定的な割合が多くなる傾向です。
66	R8.2.9	田井小	相互オープンスクールについて、名木野小からしか田井小に通えないのか。	今までのオープンスクール制度のとおり市内全域から田井小に通うことができます。相互オープンスクール制度は田井小から名木野小へ通うこととなります。
67	R8.2.9	田井小	学校整備基本方針が変更になったとあるが変更前がないと変わったのがわからないのではないか	変更点がわかりにくいのでわかるようにしたいと思います。
68	R8.2.9	田井小	子どもを増やす施策、見附を活性化させる方策等を考えていけば教えてほしい	人口減対策、若者に住み続けてもらうまちづくり対策がまさに重要だと考えている。働きながら子育てできる環境づくり、雇用環境を含めて総合的に進めていきたいと考えている。
69	R8.2.9	田井小	人口減対策で具体的な策を考えていけば何か教えていただきたい	学童クラブの充実、企業への育児休業支援、保育料の低減、見附とつながり続ける仕組み、産業誘致など様々な手を打ってきたい。
70	R8.2.9	田井小	田井小に残る子どもたち、田井小に来ようとする子供たちの保護者の相談する窓口のようなものはつくれないか。実際にどうなるか不安が大きいと思うので考えてほしい。	オープンスクール制度も、相互オープンスクール制度もまずは学校教育課に相談いただくこととなりますので、情報を共有できるようにしていきたい。また相談窓口の周知もしっかりしていきたい。
71	R8.2.9	田井小	若い世代を取り組む方法として、ニッチな世界でNo1といった魅力をもった仕組みづくりをできないか。	特色を持ったまちづくりを含めて発信力を高めて若い世代に届くよう力を入れていきたい。見附を出ていった若者たちにUターンしてもらえよう届くような仕組みを考えていきたい。
72	R8.2.12	新潟小	多人数の学びは良いことだと思う。保護者として一番気になるのは通学手段がどうなるのか、教えてほしい	遠距離の通学手段については、対象区域および公共交通やスクールバスを含めて来年度検討していく予定です。公共交通の場合は無料を想定しています。決定次第、お知らせします。
73	R8.2.12	新潟小	廃校後の学校施設の使い道は決まっているのか	現段階では決まっていません。売却や民間活用などいろいろな選択肢がありますが、今後、公共施設適正化の中で検討していきたい。学校施設は避難所機能を持っているので、その点は考慮していきます。
74	R8.2.12	新潟小	学校施設の築年数が資料にあったが、何年程度使用することができるのか	一般的には40～50年程度が耐用年数と言われていますが、大規模改修を行うことで、その後30～40年使うことができますので、施設の状況をみながら大規模改修を行うか新しく建築するか判断することとなります。
75	R8.2.12	新潟小	相互オープンスクールについてもう少し詳しく教えてほしい	現在のオープンスクール制度は小規模校である第二小・田井小・上北谷小へ他の小学校から通える制度ですが、相互オープンスクール制度は小規模校から名木野小または見附小に通える制度です。
76	R8.2.12	新潟小	相互オープンスクールは入学時からになりますか	入学時からでも可能ですし、3年生とかからでも、年度の途中からでも可能です。まずは学校教育課にご相談をお願いします。
77	R8.2.12	新潟小	小中一貫校というのは検討しなかったのか	確かに県内には小中一体の一貫校となっている学校もあり、市でも検討いたしました。小規模な小中一貫校では9年間1クラスで過ごすこととなります。その場合、新たな出会いがなく固定した人間関係が変わりようがないというのが懸念されることから市ではこの計画案となっています。
78	R8.2.12	新潟小	市の考える理想の1学級の人数というのはあるか	国の基準は1学級35人以内となっていますので、そこを基準と考えますが経験上35人は少し多いと感じています。
79	R8.2.12	新潟小	学校別に人数はどのくらいになりますか	資料にありますように、令和13年ですと例えば新潟小では全体で64人と推定されます。

番号	日時	会場	意見等	回答
80	R8.2.12	新潟小	複式学級になると教員数が減ると思うが、市独自に配置する考えはないのか	教員配置は県が担当することになりますので、市で勝手に増員するわけにはいきません。ただし、学級担任をベースとした配当とは別に少しでも増やしていただけるよう加配教員の要望をしていきたいと考えています。
81	R8.2.12	新潟小	中学校が1校になるときの場所は決まっているのか	現段階では決まっていません。既存の校舎を活用して拡張する可能性も、新たな場所に整備する可能性もあります。今後、教育環境のみならず、これからのまちづくり全体の中で考えていきたいと思っています。
82	R8.2.12	新潟小	子どもが中学校に通っているが、教室が狭い。35人にこだわらずもう少し少人数にしたほうが先生も指導しやすく教育の質が向上するのではないのか。	子どもたちが学びやすい、教員も指導しやすい環境になるよう、様々な場面で県の方とお話する機会をとらえて要望していきたい。
83	R8.2.12	新潟小	通学手段の確保で、クマ・イノシシの出没もあるので検討いただきたい	クマ対応については、関係課においてパトロールや駆除の対応を行っている。スクールバスでは全員を玄関先まで送ることができないのでご理解をお願いしたい。
84	R8.2.13	葛巻ふるセン	環境変化に対する配慮のことで、統合年時に中学3年生ということもあり心配しているが具体的にどのような配慮を考えていますか	スクールカウンセラーなど相談できる体制を整えるとともに、統合年次より前に生徒間の交流ができるような活動も行っていきたい。
85	R8.2.13	葛巻ふるセン	体操着、学用品などはどのようにするのか教えてほしい	統合に向けた準備委員会のようなところで話し合ってもらうことになると思いますが、統合の際に全てを新しいものにしてもらう必要はないと考えています。使えるものを大事に使って行って、買い替えのタイミング等でそろえてもらえばいいのではないかと考えています。
86	R8.2.13	葛巻ふるセン	早い段階で小学校、中学校間で交流を行ってほしい	子どもたち同士の交流を図ってスムーズな統合ができよう準備していきたい
87	R8.2.13	葛巻ふるセン	準備委員会の委員構成のイメージについて教えてほしい	当事者である保護者の方や地域の皆様が主たるメンバーとなり、行政は事務局的な役割を担うイメージになります。
88	R8.2.13	葛巻ふるセン	統合に向けて交流活動を1～2年前からというお話だったが、もう少し前、中学生になる前からのほうが友人関係をつくりやすいのではないのか	オンラインでの交流も含め学校間の交流が少しでも進むように市として支援していきたい
89	R8.2.13	葛巻ふるセン	中学校の1校化について、既存の学校を使用するのか別の場所に新築するのか考えがあるのか教えてほしい	現段階では決まっていません。既存の校舎を活用して拡張する可能性も、新たな場所に整備する可能性もあります。今後、教育環境のみならず、これからのまちづくり全体の中で考えていきたいと思っています。
90	R8.2.13	葛巻ふるセン	通学手段の確保について、中学校統合により通学距離が長くなるが、スクールバスはどうなるのか。保護者が送迎するようになる可能性もあるのか。	遠距離の通学手段については、対象区域および公共交通やスクールバスを含めて来年度検討していく予定です。公共交通の場合は無料を想定しています。決定次第、お知らせします。
91	R8.2.13	葛巻ふるセン	中学校のスクールバスについて、今町の村部からとところどころ停まりながらバスで西中まで来ると時間がかかり生徒に負担がかかると思うがどう考えているのか。今中と西中の統合は少し無理があるのではないのか。	遠距離の通学手段については、対象区域および公共交通やスクールバスを含めて来年度検討していく予定です。公共交通の場合は無料を想定しています。決定次第、お知らせします。
92	R8.2.13	葛巻ふるセン	小学校のスクールバスについて、小学生1年生と6年生では下校時間も違うと思うが、そのあたりはどうなるのか。全国ではバスの児童降ろし忘れ事故もあり不安。	バスの事故対策として安全装置を導入し、運転委託業者にも注意をお願いしているが、引き続き安全対策には力を入れていきたい。 下校時間の違いについては、現在も下校時間に合わせて2便運行しているため、同様に運行することになると考えています。
93	R8.2.13	葛巻ふるセン	統合された場合に学童クラブの利用はどうなるのか	現段階では、学童の利用については統合後の学区内の学童クラブの利用を考えています。統合先の学童クラブと統合前の学童クラブのどちらを利用したいのかニーズを調査して、学童クラブのあり方についても検討していきたい。
94	R8.2.13	葛巻ふるセン	統合により通学距離が長くなると思うが、防犯カメラを増やすなど安全対策が必要なのではないのか	防犯カメラについては、統廃合に関わらずに市民の皆さんの声を聞きながら設置の必要性について検討していきたい。
95	R8.2.13	葛巻ふるセン	相互オープンスクールの送迎については保護者が送迎するのか	オープンスクールの場合、学区外就学であることから通学については公共交通か保護者をお願いしています。相互オープンスクールも学区外就学になることから保護者にお願いすることになります。

番号	日時	会場	意見等	回答
96	R8.2.13	葛巻ふるセン	相互オープンスクール制度は、もともと少人数の学校なのに人数が少なくなってしまうのではないかと	相互オープンスクール制度によって人数が少なくなる可能性はあると考えていますが、人数が少なくなっても教育環境についてはしっかりと支援していきたいと考えています。
97	R8.2.13	葛巻ふるセン	統合すると遠方の方が増えるので、参観日など駐車上の整備も考えてほしい	大変難しい問題で、可能であれば検討しますが、できる限り公共交通の利用や健幸のまちづくりのためにも歩いていただけるよう協力を呼びかけていきたい
98	R8.2.13	葛巻ふるセン	スクールバスの乗車は登校班単位になるのか。現在、登校班で通学しているが欠席とか親の送迎の場合に連絡がないのでいつまでも待たされる事例がある。	基本的には乗車場所に近い児童生徒の単位になると思いますが、バスは決められた時間で運行することになります。お互いに規則を守ることを徹底を働きかけていくことと連絡方法について周知したいと思います。
99	R8.2.13	葛巻ふるセン	スマートウェルネスの考えに賛成なのですが、レンタルサイクルの数が少なく、利用したいときに利用できないので公共交通として利用促進を考えてほしい。	レンタルサイクルの利用状況を見ながら、ご意見も踏まえて検討していきます。
100	R8.2.13	葛巻ふるセン	学校が統合されると、修学旅行や卒業アルバム、PTAや生徒会の規則がどうなるのか教えてほしい	修学旅行や卒業アルバムは積立てを行っていると思いますが、一旦返金されると思いますのでそれを新しく積立てに入金されていると聞いております。PTAについては統合前に準備委員会で話し合われることになりすし、生徒会については統合前に学校間で合同の生徒会選挙のような形にするのか話し合いが行われることになります。
101	R8.2.13	葛巻ふるセン	スクールバスについての基準について教えてください	国の基準では、小学校は4km中学校は6kmを超える場合はスクールバスの対象とされていますが、これよりも短い距離でスクールバスを出している市町村もあります。
102	R8.2.13	葛巻ふるセン	廃校後の学校施設の使い道についてどう考えているのか	現段階では決まっています。売却や民間活用などいろいろな選択肢がありますが、今後、公共施設適正化の中で検討していきたい。学校施設は避難所機能を持っているので、その点は考慮していきます。
103	R8.2.13	葛巻ふるセン	見附特別支援学校は建築から何年ぐらい経っていますか。既存のまま利用されるのでしょうか。	平成14年建築なので建築してから24年経過しています。元々は小学部・中学部だけでしたが高等部ができましたので教室不足なのですが、名木野小の改修時に使用した仮設校舎を支援学校の教室棟として利用することで、現在の校舎の利用を考えています。
104	R8.2.13	葛巻ふるセン	見附特別支援学校に障害がある子どもが通う場合は、学校に看護師さんのような方を配置するという事はあるのでしょうか	安心安全に通っていただくために体制を整えていきたいと思えます。現在も見附小学校と特別支援学校に看護師さんにお勤めいただいております。
105	R8.2.15	今町小	計画案は概ね子ども達のためということは理解できたが、今町中学校が統合されるということは決定事項なのですか	計画案ですので決定事項ではありませんが、計画として承認されると正式に計画として決定されることとなります。そのためこの計画案に対して説明会やパブリックコメントで意見を聞かせていただいています。
106	R8.2.15	今町小	市民アンケートで今町地区では全体よりもネガティブな結果であった。今町地区の中では今町小に今町中と一緒にイメージの方が多くいる。多様な学びの場の設置の中で今町小に中学を設置することはできないのか	確かに県内には小中一体の一貫校となっている学校もあり、市でも検討いたしました。小規模な小中一貫校では9年間1クラスで過ごすこととなります。その場合、新たな出会いがなく固定した人間関係が変わりようがないというのが懸念されることから市ではこの計画案となっています。また中学校で学年1学級では教員の数が少なく、各教科の免許を持った先生を配置できない可能性が高く、学力保障できないことも懸念されます。
107	R8.2.15	今町小	今町地区の人は西中ということかと思うが、全見附地区の方が自由に学区を選択できないのか	どこの学校でも選択できるようにすると毎年教室の過不足や教員の配置に影響が出てくることになることから、基本的には学区がある中で適正な教員配置を行い、しっかりと教育活動を行えるようにしたいと考えることから市内どの学校も選択できるというのは考えていません。
108	R8.2.15	今町小	スクールバスの乗り場まで保護者が送っていかなくてはいけないのではないかと不安に思っているが、どのようなものか。	通学手段については、公共交通やスクールバスを含めて来年度検討していく予定としており、その中でルートや集合場所も検討していきます。決定次第、お知らせいたします。
109	R8.2.15	今町小	中学校が1校になるときの場所は決まっているのか	現段階では決まっています。既存の校舎を活用して拡張する可能性も、新たな場所に整備する可能性もあります。今後、教育環境のみならず、これからのまちづくり全体の中で考えていきたいと思えます。
110	R8.2.15	今町小	人口減少対策が重要だと言っていたが、学校再編は人口減少対策になるのか	学校適正配置計画案は財政の問題ではなく、子どもたちの教育環境を第一に考えて策定されました。人口減少対策としても学校再編は必要と考えています。中学校については歩いて通える環境よりも学ぶ環境の方が大切だと考えています。

番号	日時	会場	意見等	回答
111	R8.2.15	今町小	全国で学校が無くなると人口は減少しているが、なぜそれが人口減少対策なのか	保護者からは、ある程度の集団の中で学ばせたいという声を多く聞いていますし、もっと早く統合すべきでなかったのかという声も聞いています。人口減少対策の中でしっかりと適正規模の中で学ぶ環境をスピード感を持ってつくるのは必要だと考えています。
112	R8.2.15	今町小	他の市町村では人数が少ないとオンラインで交流したり、他の学校に行き交わっている。人数が少ないから統合するというのでは違うのではないかと。	市としては将来の子どもたちのために適正規模を目指して、適正配置計画案を示させていただいています。
113	R8.2.15	今町小	子どもたちが大きくなった時に、統廃合によってどう変わっているのか、期待と不安がある。地域の方に統廃合を成功させるためにどんなことを期待しているのか聞かせてほしい。	地域のコミュニティの方には学校との連携に力を入れていただいて、地域の伝統・文化を拡げていってほしい。
114	R8.2.15	今町小	中学校の統合年次が一緒でないのは何か理由があるのですか	中学校の統合年次についてですが、既存の校舎を利用する関係で西中学校が見附中学校より建物がいずれ小さいと学区変更を行うためになります。
115	R8.2.15	今町小	計画案に賛成で、できればもっと早くてもいい。統合年次ではなく、入学時に最初から行くことはできないか。	統合年次よりも早い段階で生徒同士の交流事業を行うことで統合時の不安を少しでも解消できるようにしたい。保護者と地域の皆様から統合準備委員会をつくることで議論を進めながら不安の解消に努めていきたい。お子様の事情でどうしてもという場合には学校教育課に相談をお願いします。
116	R8.2.15	今町小	長岡市や三条市でも同じような統廃合の動きなのでしょうか	全国的に人口減少は進んでいるが、県内の中で見附市は減少率が少ない方であるので、いろいろな施策を行っていきたい。学校統廃合については、各市で早いところと慎重なところの動きがある。
117	R8.2.15	今町小	廃校後の利用について避難所の役割はどうなるか	地域における避難所の機能は大切であり、廃校校舎を活用するかも含めて今後検討していく。ただし、避難所が必ずしも公共施設である必要はないとも考えている。
118	R8.2.15	今町小	統廃合によってスクールバス利用になると、朝の家を出る時間がどれくらい変わるのか、保護者としては心配している。近隣の市町村のデータはあるか。	通学手段については、公共交通やスクールバスを含めて来年度検討していく予定としており、その中でルートや集合場所も検討していきます。近隣の市町村のデータ等はありません。
119	R8.2.15	今町小	学童クラブは希望する団体が実施していると思うが、統合によって市として一法人に指定管理みたいな感じで切り替える予定などはあるのでしょうか	学童クラブの運営については今まで通りの運営形態を考えています。今後、学童クラブのあり方について検討していく中で適切な形を考えていきたい。
120	R8.2.15	今町小	学童クラブについて、地元で学童クラブを置くのか学校に学童クラブを置くのか教えてほしい	現段階では、学童の利用については統合後の学区内の学童クラブの利用を考えています。統合先の学童クラブと統合前の学童クラブのどちらを利用したいのかニーズを調査して、学童クラブのあり方についても検討していきたい。
121	R8.2.15	今町小	今町は小学校も中学校も近くて魅力的だと思っているが、学年1学級になることを考えるとこの計画案に賛成している。	前向きにとらえていただけてありがたく思っております。
122	R8.2.15	今町小	各会場での意見がわかるようにしてほしい	パブリックコメントと合わせて市民の皆様にお示ししたい。
123	R8.2.15	今町小	令和6年に子育てどまんなか条例ができました。児童生徒の意見を聞く場を設けてもいいのではないかと。	子どもたちの意見については令和5年のタウンミーティングで直接、意見を聞く場を持たせてもらった。計画をすすめていく段階ではまた子どもたちの意見を聞いていきたい。どういった環境を準備するかについては大人の大事な役割だと思っていますし、どんな学校にしていきたいかについては子どもたちの意見を聞きながらしっかりとすすめていきたい。
124	R8.2.15	今町小	基本的に統合は仕方ないかなと思っているが、新しい環境に不安を感じている。相互オープンスクールというのがあったが、全小学校中学校で事前に行き交わって交流をスタートして子どもたち全員が一体になれるような環境をつくっていただきたい。	統合前の不安が少しでも少なくなるように考えたい。リモート授業などを通じてできるだけ市内の子どもが顔見知りになれるようにしたい。
125	R8.2.15	今町小	11月の教育の日の見直しを行ってリモートで全小学校で何かをするとか、一体化してまとまってほしい。30年後に子どもたちがこの環境の変化が最高のものになってくれるようにしていただきたい	全市一斉の取組というよりも、地域の皆様保護者の皆様一体となって、全市一体で関わっていけるような取組を行いたいと考えている。

番号	日時	会場	意見等	回答
126	R8.2.15	今町小	学校指定の物があるかと思うが、物品にかかる費用はどうか	統合に向けた準備委員会のようなところで話し合ってもらおうことになると思いますが、統合の際に全てを新しいものにしてもらう必要はないと考えています。使えるものを大事に使って行って、買い替えのタイミング等でそろえてもらえばいいのではないかと考えています。
127	R8.2.15	今町小	学年1学級のクラスの子がいて、中学のときに統合になる。中学に入る前に小学校の段階から交流を行うことはできないか。	統合年次よりも早い段階で生徒同士の交流事業を行うことで統合時の不安を少しでも解消できるようにしたい。保護者と地域の皆様から統合準備委員会をつくることで議論を進めながら不安の解消に努めていきたい。